



北海道地方

北海道の町村道昇格

北海道廳土木部では現在の町村道の内から百六十四里を國費及び地方費に移管し、町村の負擔軽減を圖り、同時に匡救土木事業として急速に改良した道路の維持修繕を主として地方費を以て支辨する計畫を立て、内務省に稟議中なりしが昨年十一月四日原案通り決定したので、道會に諮問し左の如く決定した。

(一) 地方費道に昇格せるもの
準地方費道より 一 二六里

地方通信

(二) 準地方費道に昇格せるもの

町村道より 四五里
町村道より 一一九里

北海道手稻の道路網

北海道手稻村の畠山村長は一昨年春以來道路の改良、泥炭地の開發、防風林の造成、畜牛馬の飼育、農業の改良等農村の自力更生計畫を樹立し、舉村一致これが實現に當つてゐるが、道路の改良には特に意をそそぎ目覺しき進出振りを示し、農村振興土木事業として昭和七年に於ては輕川市街の路面改良並に側溝を完成し、輕川市街の面目を一新し、昭和八年には石狩道路の幅員

擴張並に路面改良を完成し、同年十二月下旬には西野左股橋の架替を完了し札幌市外圓山迂廻線との連絡を圖り、更に本年度に於ては山口本線並延長道路の改良を計畫し、農村救済費を以つて施行方を札幌土木事務所並所轄石狩支廳當局に陳情の結果實現可能の模様である。又國道に對しても昨年度の終點錢函に引續き本年度は輕川方面に對する施行方を道廳當局に運動中である。

同村の道路網は以上の外札幌輕川間鐵道沿線の拓殖道路と西野本線(國道西分岐點より西野右左股の分岐點に到る道路)延長一軒七百四十メートルの二線が残されてゐる。鐵道沿線の道路は琴似村の村界まで改良中であるが、この道路は國道に次ぐ重要な産業道路であるため是非本年度に於て村界三谷農場附近より終點輕川石狩線に接續する三料の區間の改良及び、昨年左股橋の架替完了による札幌方面よりの郊外遊覽客招來上並に西野部落隨一の重要な

産業道路たる西野本線の改良が要望されてゐる。此等二路線が改良されたならば手稲村の道路網は完成するので、畠山村長は本年度に於てこれが完成を期し、案を村會に付議し満場一致の賛成を得たので具體案を立て、各當局に運動する由である。

關 東 地 方

栃木縣芳賀郡中川村

小學生の道路修理

栃木縣芳賀郡中川村併置校の高等科二年の小學生八名は學校の往復に毎日通る村道約半里の間が暴風雨のため破損したのを見て、「此非常時に村の經費で改修するのは好ましくなくそれかといつて收穫期の農家から人を集めて改修するのもお互に困るだらふ」と語り合ふた結果村の人達のために一つ自分達の手で修理しようとした決心し、昨年十月一日から朝は五時に起き登校前約二時間、放課後二時間、日曜日は終日熱心に修

理したので二ヶ月半を経た十二月中旬には立派に破損箇所を修理し、破損前にも増して立派な道路となしたので、村人達もこの少年達の善行に感激し、中川村役場と學校とに相談してこの小學生達を表彰した。

千葉縣銚子の縣道鋪裝

千葉縣銚子市内の縣道鋪裝工事は昨年十二月十五日より銚子市春日町地藏尊前から清川町を経て桔梗屋前に到る延長一キロメートル及び觀音下油屋前から和田田中を経て植松町に到る延長五百メートルに着手し、何れも昭和八年度内に完成の豫定である。これに引續いて本春三月より銚子驛前より一直線に汽船會社前海岸道路に接續する停車場線を幅員十二メートルに擴張鋪裝し、又本城地點より川口に到る海岸道路を鋪裝する豫定である。

銚子市の都市計畫道路網

千葉縣銚子市の都市計畫道路網の決定に

就いては縣土木課で調査中であるが、同道路網は四十路線延長六萬メートルに上る豫定である。而して同道路網は銚子市役所と飯沼觀音を中心とする放射道路とし、高神村は環狀道路とし、銚子驛前より海岸に到る道路と本銚子より銚子を巡る海岸道路を二幹線とし幅員は十六メートル以上にする計畫である。従つて本計畫は千葉市の都市計畫道路網よりは廣大である。

横濱市の水道道路

横濱市水道局に於ては、神奈川區と鶴見區方面中央地區一帶の住宅地に水を供給すると同時に交通の利便に供するため水道道路(裏東海道)を作る一石二鳥の計畫を立て、昭和七年秋着工以來鋭意工事を急いでゐるが本春三月には愈々幅員五間の案晴らしい自動車道路が出現することゝなつた。同水道道路は鶴見、神奈川方面高臺一帶への給水を目的とした水道導水鐵管の埋設線を幅員五間に擴大し、同時に道路に利用し

たものにして、全國で初めての試みとして各方面より注目されてゐる。尙同水道路は西谷貯水池より常盤園上までは勾配の關係から自動車通行に適しないが、同園から保土ヶ谷ゴルフ場を経て片倉町に至る間は現在の道路敷の下を通り、片倉町長道寺前から右折し、鶴見の梅ヶ丘で獅子ヶ谷縣道に接続するまでは一直線である。従つてこれが完成の曉には同地方の交通は非常に便利となるであらふ。

神奈川縣下逗子葉山間

海岸道路復活

林葉山町長が就任以來全力を注いで奔走中であつた逗子葉山間海岸道路(舊縣道)の縣道復活案は昭和七年末の縣會を通過し内務省に認可申請した所行幸道路に併行する關係から道路法に牴觸すると云ふので難關に逢着したが、其後地元熱心なる運動が奏效し、昨年十二月一日付で縣告示六五八號を以つて認定された、併行線である關係

から新に逗子葉山停車場線といふ縣道が設けられ、逗子驛前から葉山町堀内九〇一ノ一先までが新縣道で従來の上宮田線が堀内迄延長されたものである。葉山町ではこの告示に伴ひ近く一度町村道に移管された海岸道を再び縣道に移管する手續きをとることとし、更らに新縣道を簡易舗裝すべく計畫してゐる。

神奈川縣下厚木淺川線の

改良工事

神奈川縣田名村地内厚木淺川線道路改良工事は農村救済土木事業として工費千四百八十四圓を以つて昭和八年十一月十五日着工し、鋭意工事を急いでゐたが十二月下旬竣工するに至つた。同道路は相川八王子線に通過する重要道路にして村民の念願も達せられ、小學校兒童の通學にも便利となつた。

東北地方

青森縣八戸市の道路舗裝

青森縣八戸市内の道路舗裝工事は既に廿三日町より鹽町に到る大通り及び三日町より八戸驛に到る縣道を完成したが、昭和九年には引續き鹽町より湊橋際まで延長二十メートルの道路及び廿三日町より市營バス車庫まで延長七百メートルの道路を工費五萬圓にてコンクリートに舗裝することに決定した。而して同工事は昭和九年秋までに完成の豫定である。これが完成の曉には八戸上町から湊橋まで一直線の道路が舗裝されることとなるから同市内は著しく面目を一新するであらふ。

尙八戸市の新井田川に架設中なりし新湊橋は今回見事に完成して、モダン振りを誇つてゐる。

宮城縣下の産業道路竣工

宮城縣名取郡増田村は米、疊表、甘藷、西瓜等の産地にして、一年中輸出物の絶える時がないので、これら生産物による収益は年々莫大な額にのぼつてゐるが、従来これらの生産物を運搬する完全な産業道路がないため出荷に當つて可成の不便を感じてゐたので、隣接町村と協力し、産業道路改良計畫を樹立し、昭和七年より二ヶ年の繼續事業として工費一萬圓を以つて同道路の開設工事に着手し、鋭意工事を急いでゐたが昨年十二月下旬に完成した。これにより従來の不便は一掃されるであらふ。

尙岡村では更に増田村を起點として海岸に至る連絡道路を開設すべく目下準備中である。

宮城縣下の匡救道路

宮城縣下の志田、遠田、加美、玉造、栗原五郡の本年度時局匡救土木事業たる道路

改良工事は着々進行して、山村地方は既に八分通り完成し昭和八年十二月末までに全部完成の豫定であり、又志田、遠田二郡の平坦地方は目下六分通り完成し、昭和九年二月末までに全部完成の豫定である。然し各町村が折角改良した道路も維持方針が樹つてゐないため舊の廢道と同一運命に落ちるのではないかと心配されてゐる。

山形。鶴岡兩市を結ぶ縣道

六十里越の改良

山形、鶴岡兩市を連結する縣道六十里越街道の改良工事は鶴岡市寄りの本郷村三栗屋から大綱までの一部と梵字川の架橋工事を殘し大體完成したので十二月二十五日限り年内の工事を打切ることゝなつた。尙目下架設中の本郷村名川地内早田川鐵橋（工費二萬圓、延長二十メートル、幅員五・一五〇メートル）は昭和九年一月中に完成の豫定である。更に引續いて架設される梵字川の鐵橋は工費五萬圓にして延長百二十メ

ートルの六十里越街道隨一の大橋である。然し道路は雪解を待つて砂利敷きと手入れをなし昭和九年八月開通の豫定である。

最上地方の道路改良

山形縣最上郡二町十七ヶ村の救農土木事業は昨年十二月十日を以つて一先づ完成した。この救農町村道の改良工事は二十六路線にして延長二萬八千六百五十五メートル、工費七萬七千五百圓であるが此の外同地方の縣道も一萬二千餘圓を以つて救農道路工事として改良されたから、従來縣下の不良道路であつた最上郡の道路は著しく面目を一新した。

福島縣の縣道に編入された

道路

豫て福島縣から縣道編入方を内務省に申請中であつた十四路線の内左の八路線を認可する旨通牒あつたので正式に縣報で告示することゝなつた。尙舞木驛鷹巢線は不認

可となり他の路線は近く同省で實地調査をなした上決定することになつてゐる。

△磐城瑞驛下澁井線△磐城石井驛、小石井線△近津驛寺山線△川内大越驛線△鹽川驛堂島線△大島松川浦港線△守山磐城守山驛線△川東驛小作田線

東山地方

山梨縣下の理想道路竣工

山梨縣南都留郡瑞穂村下新田地内國道八號線の道路改良工事は昭和八年七月着工以來鋭意工事を急いでゐたが同年十二月十五日見事に竣工した。同改良道路の延長は一千百二十メートル、幅員七メートルにして、道路の兩端には完全な側溝が設置されてゐる。従つて山梨縣當局が八號線隨一の理想道路であると誇稱するのも無理ではない。これによりて東京地方からの五湖遊覧客は非常に恵まれることとなるであらふ。

東海地方

名古屋・桑名間産業道路の完成

愛知縣名古屋市と三重縣桑名を連結する産業道路改良工事は愛知三重兩縣の縣境を流れる木曾川に架設中なりし尾張大橋の開通によりて愛知縣と三重縣とは完全に握手し交通上非常な便利となるに至つたが三重縣桑名郡長島地内と揖斐、長良の伊勢大橋の架設工事が残されてゐるが此等も本春三月末までには完成する豫定である。これに依つて名古屋桑名間産業道路改良工事は全部完成するのである。この産業道路の完成を目睫に控えて關係地元から名古屋桑名間の乗合自動車出願が續出してゐる。

名古屋市の主要道路舗装

と橋梁架替計畫

名古屋市土木部では昭和九年度第三回矢

業救済土木事業として工費百八十餘萬圓を以つて主要道路の舗装と橋梁の架替を計畫してゐる。同計畫によれば交通政策上交通量の最も多い主要道路たる高辻堀田間、高辻瀧子間、押切淨心間、白鳥橋架港間、西の他二三路線を舗装し、目下縣に於て堀川の浚渫を行ひつゝある關係上堀川の架橋を中心として山王橋、古渡橋、小鹽橋、五條橋(以上堀川)及び石川橋(山崎川)鶴橋又は鶴舞橋(新堀川)等の十橋梁を鐵骨鐵筋コンクリート又は不燃燒性のモダンな橋梁に架替へる計畫である。

近畿地方

宇治川南岸に自動車道新設

京都府綴喜郡各關係町村及び關係者は宇治川ラインの全通を期して、綴喜郡田原村の宇治川兩岸に宇治電堰堤まで二千メートルの自動車道の新設する計畫を立て、本春

早々工費六千餘圓を以つて二ヶ年繼續事業として着工することに決定した。而して各關係町村及關係者は昨年十二月十一日宇治町で協議の結果八年度に於ては宇治町が四百圓、田原村が二百圓、宇治田原村が百圓、京阪電車宇治川汽船會社が七百圓、宇治電が五十圓負擔し、九年度の負擔は協議決定することとなつた。

大阪府の交通標識統一

大阪府交通課では「陸の燈臺」ともいふべき交通標識の統一を考究中であつたが今同成案を得たので昨年十二月十一日交通安全協會主催の信號標識小委員會を知事官舎別館に開催して附議した結果、標識は遠方からでも一目瞭然たらしめるため文字や色彩よりも形の選定が肝要だといふ主旨のもとに大體左の數種に統一する事に決定した。

(一) 踏切近し、交叉近し、横斷歩道、などすべて通行車馬に豫報又は注意を與へる標識は悉く圓型

(二) 學校徐行、病院徐行などすべて自動車などの徐行を促す標識は縦の菱型

(三) 停止線、片側通行止、諸車通行止、營業用空車通行止などすべてストップを意味する標識は八角型

(四) 右曲り、下り坂道、左側通行、停車禁止、空車轉廻禁止などすべて一般的標識は長方形

(五) 一方交通は細長い矩形

(六) 踏切はX字型

而して右六種の標識板の地色や枠、文字の色彩は夫々區別し、更らに「踏切近し」「交叉近し」などは圓型内にX文字を、又横斷歩道は十字を、「右曲り」や「一方交通」「下り坂道」は矢字を、「學校徐行」は文の字を彩りも美しく浮き出さすのである。同交通課では近く内務省に報告し大阪府公定の標識として採用せんとしてゐる。

兵庫縣下竹田町城山の

自動車道

兵庫縣朝來郡竹田町城山の登山口から頂上まで延長三十二町、幅員十三尺の自動車道を新設する計畫は着々進行し、近く着工し、本春四月頃までに完成の豫定である。同自動車道が完成した曉には南但の名勝地城山も要害堅固を誇つた四百年前の昔を偲びつゝモンジンの爆音軽く數分にして頂上に達するに至るであらふ。

兵庫縣下豐岡驛前の舗裝

兵庫縣豐岡町多年の懸案であつた驛前廣場の舗裝に關し町當局及商工會が協力して鐵道當局に嘆願した結果、愈々昭和八年度内に工費五千圓を以つて着工することに決定した。

舗裝様式は最初の計畫であつた中央に綠樹地帯を設けるのを變更し、驛前通りより驛正面の玄關まで約十二間幅、生田斜線から旅客出口へ約八間幅の道路を新設舗裝し兩側に歩道を設け、南地兩側に半圓形の自動車道を設け、その他の空地は芝地となし、

樹木を植えて小公園化するものである。完成の曉には従来の發風景から開放され面目を一新し但馬の首都に恥ぢぬ驛頭風景が現出するであらふ。

中國地方

松江市都市計畫道路の起

工式

島根縣松江市に於ける最初の都市計畫事業として實施せられる本郷町貫通道路の起工式は昨年十二月十日午前十時より本郷町地内天神川岸に於て盛大に舉行された。同道路は延長約百六十間幅員十二間にして總工費は十萬圓である。同道路は松江市民が多年待望してゐたものであるが、これに依りて大松江建設の輝しいスタートが切られたわけである。

岡山市都市計畫道路

岡山縣下岡山倉敷間を結ぶ國道改良工事

地方通信

中の岡山市地内は地元にて土地區劃整理組合を組織し着工することとなつたが、同工事と同時に岡山市都市計畫課に於ては都市計畫第二期事業である大供野田線を着工することとし、明年度豫算にこれが工費十一萬三千圓を計上した。同路線の延長は二百五十メートル、幅員は廿三メートルにして、完成の曉には都市計畫第一期事業である下石井線と國道とを連結し、岡山市西部の大幹線道路となるであらふ。

廣島縣下狩留賀隧道の開通

廣島縣下吳廣島間國道工事中の難工事たる吳市吉浦町狩留賀隧道は昨年十二月十七日午前十一時十五分坂本大阪土木出張所長が同隧道東入口に配置せる導火線に連らなる釦を押すと共にダイナマイトは轟然爆發し同隧道は初めて貫通した。同隧道は工費十五萬圓、延長二百八十三メートル、高さ五・五メートル、幅員九・八〇メートルにして道路トンネルとしては東洋一を誇つてゐる

全部竣工するは本春三月頃の豫定である。

廣島縣鞆の浦參拜道路

海の國立公園に編入された鞆の浦名勝地、阿伏兎觀音所在地の沼隈郡千年村では一ヶ年十萬人以上の參拜者が海路によるため地元の發展に支障を來すので、今回此等參拜者を陸路によらしめんと千年村を縦斷する鞆尾道線縣道から分岐する參拜道路を匡救事業として新設する計畫を立てた。然し阿伏兎山村は國有林であるため右國有林の一部の借地認可方を大阪營林局へ申請中であるが、認可あり次第ドライヴウエーを兼ねた參拜道路新設工事に着手する由である。

廣島縣下名荷村の匡救道路

路竣成

廣島縣生口島匡救道路事業中の豊田郡名荷村の匡救村道新設工事は昨年十月十六日起工されたが、同村宇嶋居の海岸線延長百

五十メートルは殆んど岸壁で非常な難工事であつたが全村民の犠牲的奉仕によつてやうやく完成し、十二月中旬に竣工を遂げた。此の工事に要した費用は千六百八十五圓餘にして全く村民一致の奉仕の努力に依るものである。

廣島縣下都谷村縣道の竣工

廣島縣山縣郡都谷村の縣道改良工事は昨年九月二十三日起工以來鋭意工事を急いでゐたが十月中旬に見事に竣工した。同道路は延長六百メートル、幅員五・五〇メートルにして擴大幅員は六・五〇メートルで道路の兩端はコンクリート・石積みである。完成の曉には交通上の利便は至大であらふ。

廣島縣蘆田川に架せる七

橋梁の架替

今回蘆田川が改修されたので、同川に架設されてゐた草戸大橋、扇橋、神島橋、大渡橋、鶴ヶ橋、掛ノ橋、山守橋の七橋は架

替の必要に迫られてゐるが、草戸大橋は既に架替完成しミタリック・ゲルバーの豪華を誇つてゐる。又扇橋は總工費四萬四千圓にて本年五月延長一五〇メートル、幅員五・五〇メートルのコンクリート・ゲルバー橋に架替へる工事に着手し、十二月下旬完成の豫定である。又神島橋は目下工事中である。大渡橋、鶴ヶ橋は認可申請中であるが此の内大渡橋は年度内指令に接する豫定であるから本春三四月頃着工すべく目下準備中である。此の大渡橋は現在の流心六十度の斜角を直角に改造し、延長二三〇メートル幅員五・五〇メートルに擴大し、コンクリート・ゲルバー橋に粉飾される由である。尚鶴ヶ橋と掛ノ橋は蘆田川支流高屋川に架せられてゐる。従つて全部の架替工事が完成するのは三年後となるであらふ。

廣島縣下仁井田橋の開通式

廣島縣高田郡仁井田村にある仁井田與津線中の仁井田橋は一昨年の水害のために流

失したので、縣直營として昨年八月一日工費三千四百圓にて着工し、鋭意工事を急いでゐたが今回見事に竣工したので、同村が匡救土木事業として昨年十月一日着工してゐた延長一四六メートルの仁井田五社線の竣工を俟つて十一月二十九日盛大なる開通式を擧行した。同橋は延長八十四尺、幅員十二尺二寸のモダンなコンクリート橋である

九州地方

北九州一のモダンな昭和

道路の竣工

北九州一のモダン道路の稱ある戸畑市牧山泥田間大幹線道路たる昭和道路は總工費四十五萬五千餘圓を以つて鋭意工事を急いでゐたが今回見事に竣工したので昨年十二月十七日同所に於て盛大なる竣工式が擧行された。

福岡市の道路擴張計畫

福岡市では縣當局の勸奨に従ひ市民が多年切望してゐた呉服町電車交又點から築港海岸に至る道路即ち上市小路から中下市小路及大濱三丁目を経て築港岸壁に達する幅員六メートルの狭い道路を幅員廿七メートルに大擴張し、博多驛から海岸に至る大幹線道路を實現することに決定した。これが完成の曉には同市の交通は非常に便利となるであらふ。

久留米市外高良神社参拜 道路

福岡縣久留米市外御井町國幣大社高良神社参拜道路の第一期改良工事は四千圓の國庫補助を以つて昭和八年一月着工し、同年三月には愛宕神社下まで完成したが、更に國庫補助金を得て第二期改良工事に着手し、昭和八年度中に高良神社々殿下まで完成する豫定である。完成の曉には登山バスが運轉されるから同社の参拜者は非常な利便を受けるに至るであらふ。

地方通信

福岡縣二日市の道路舗装

福岡縣筑紫郡二日市町湯町地内の道路舗装並延長工事及び紫地内道路新設工事は今回立派に完成したので、十一月二日午前十一時より武藏温泉場の廣場に於て盛大なる竣工式が舉行された。同日は旅館組合が假裝行列を行ふ等大變な賑ひであつた。

小倉市の舗装道路清掃に 女人夫使用

小倉市防塵協會に於ては日本に於ける最初の試として小倉市内の舗装道路の清掃に女人夫を使用してゐたが非常な好成績だつたので、今回その範圍を擴張して東は延命寺から西は八幡戸畑兩市港まで小倉市内横斷の國縣道全部に及ぼすこととし、更に女人夫を募集中であるが、それが費用は主として沿道關係市民の負擔に依るのである。而して本事業は最初は寶町外五ヶ町の衛生組合により開始されたものであつたが範圍

の擴大すると共に小倉防塵協會が組織され、市衛生聯合會の後援のもとに經營されるに至つたのである。

福岡大分兩縣を結ぶ山國 橋竣工

福岡大分兩縣を結ぶ山國橋は昭和七年八月上旬總工費十三萬四千七百三十圓を投じて鋭意工事を急いでゐたが今回見事に竣工した。同橋は延長二一四・三七メートル、有効幅員八メートル、徑間十三本である。

尙同橋の交通許可は昭和九年一月下旬の豫定である。交通が許可されたならば福岡大分兩縣の交通上に非常な利便を與へるに至るであらふ。

× × × × ×